

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券については、償却原価法(定額法)によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
償却資産については、定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金については、当事業年度末における自己都合要支給額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	15,445,644	0	0	15,445,644
投資有価証券	1,299,941,268	100,212,497	100,217,377	1,299,936,388
小計	1,315,386,912	200,001,912	200,032,904	1,315,382,032
特定資産				
退職給付引当資産	0	306,600	0	306,600
特定事業準備資金	15,000,000	0	15,000,000	0
食の文化ライブラリー事業費用積立	15,000,000	0	15,000,000	0
小計	15,000,000	306,600	15,000,000	306,600
合計	1,330,386,912	200,308,512	215,032,904	1,315,688,632

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	15,445,644	(0)	(15,445,644)	(—)
投資有価証券	1,299,936,388	(0)	(1,299,936,388)	(—)
小計	1,315,382,032	(0)	(1,315,382,032)	(—)
特定資産				
退職給付引当資産	306,600	(—)	(—)	(306,600)
特定事業準備資金	0	(0)	(0)	(—)
小計	306,600	(0)	(0)	(306,600)
合計	1,315,688,632	(0)	(1,315,382,032)	(306,600)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	32,505,764	7,900,895	24,604,869
ソフトウェア	83,478,643	45,110,955	38,367,688
合計	115,984,407	53,011,850	62,972,557

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第774回 東京都公募公債	200,000,000	195,650,000	△ 4,350,000
北九州市第19回20年公募公債	99,972,667	96,690,000	△ 3,282,667
第8回三井住友フィナンシャルグループ永久社債	99,654,131	89,448,000	△ 10,206,131
第20回三菱UFJフィナンシャルグループ永久社債	100,000,000	99,454,000	△ 546,000
ビーピーシーイーエスエー第20回社債	99,119,298	95,068,000	△ 4,051,298
第155回 利付国債(20年)	101,457,155	94,423,000	△ 7,034,155
平成29年度第14回愛知県公募公債	200,000,000	195,681,000	△ 4,319,000
第2回株式会社かんぽ生命劣後債	100,264,812	93,959,500	△ 6,305,312
第5回 三井住友海上(劣後)	100,000,000	93,970,000	△ 6,030,000
第1回日本生命6劣ローン	100,224,668	92,830,000	△ 7,394,668
みずほフィナンシャルグループ第16回永久社債	99,243,657	93,970,000	△ 5,273,657
合計	1,299,936,388	1,241,143,500	△ 58,792,888